

令和6年度

田無第二中学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 地域学習「ふるさと納税と西東京市」
(活動名)

- ねらい：
- ① 「ふるさと納税」の理解を通してふるさとについて深く探究し、郷土愛を育む。
 - ② 地域の人との関わりや地域資源等を調べるなどを通して、問題解決力を育む。
 - ③ 探究活動を通して、自主性、責任感、コミュニケーション能力、協調性の育成を図り、社会人として必要な常識、礼儀を学ぶ。

【12月19日】 ふるさと納税について理解する

本探究学習は、社会の授業「地方財政の現状と課題」を通して各クラスでふるさと納税の仕組みを学ぶことから始まりました。授業の中で、ふるさと納税制度の「メリット（ふるさと納税利用者の立場）」と「デメリット（西東京市運営側の立場）」に着目し、様々な意見を交わしながら、最終的に班ごとに探究テーマ選びました。

【12月23日】 テーマについて探究活動

各班が研究テーマを確定させ、クロームブックなどを活用して資料を収集しました。また、家族・地域・学校（教員・生徒）・事業所へのアンケートや聞き取り調査に関する事前指導を経て、班ごとに調査方法を決め、冬休み期間中に聞き取り調査等を実施しました。



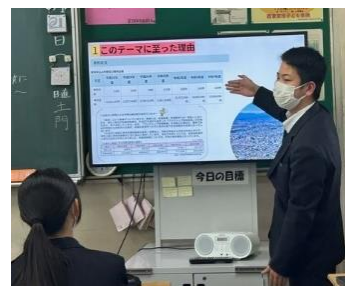
【1月14日】 西東京市秘書広報課の方より講話

西東京市秘書広報課の方より「西東京市とふるさと納税」について御講話をいただき、西東京市の仕組みや返礼品、西東京市の歳入への影響について理解を深めました。



【1月21日～】 クラス発表&学年発表

今回の探究学習の発表会を行いました。学年発表会では御講話いただいた西東京市秘書広報課の方もお招きして実施しました。グラフや図表を駆使してわかりやすく学習の成果を伝えていました。



まとめ

最初は「ふるさと納税」について馴染みがなかった生徒が、仕組みを学ぶにつれて、魅力的な返礼品のこと以上に、西東京市に住む者として納められる税金が他の地方公共団体に流出していることに気付くなど、発見の多い取り組みでした。また、寄附金を得るために返礼品のアイデアを出したり、流出した約9億円が西東京市にもたらすデメリットについて言及したりと、課題解決に向けて意欲的に取り組み、問題解決能力を伸ばすことができました。